

# 衆議院内閣委員会ニュース

平成 20.5.8 第 169 回国会第 13 号

5 月 8 日、第 13 回の委員会が開かれました。

1 内閣の重要政策に関する件、栄典及び公式制度に関する件、男女共同参画社会の形成の促進に関する件、国民生活の安定及び向上に関する件及び警察に関する件

・町村国務大臣（内閣官房長官） 泉国務大臣（国家公安委員会委員長、食品安全担当大臣）、岸田国務大臣（科学技術政策担当、国民生活担当、規制改革担当、消費者行政推進担当大臣）、増田国務大臣（地方分権改革担当、地方再生担当、道州制担当大臣）、西川厚生労働副大臣、松島国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

## 市 村 浩一郎君（民主）

- ・夜間の歩行者の事故防止のため、反射材の普及や有機 E L 等の活用も推進したいがいかがか。
- ・施設介護を中心とすることが現実的であると考えているが、介護殺人や介護心中が近年増加傾向にある中で、厚生労働省は従来どのような対策を行ってきたのか。
- ・診療報酬改定によって本年 4 月から患者本人がジェネリック医薬品を選択できるようになったが、ある特定の病院や診療科等が全て使用不可とする状況があることについて厚生労働省の見解を伺いたい。

## 川 内 博 史君（民主）

- ・米兵家族の少年らによる窃盗事件（2008.4.13 沖縄県北谷町）について、米国大使館はどのような説明をしているのか。また、同事件における米憲兵隊の行為がわが国の法令及び日米地位協定上問題があるとの認識か。
- ・海自イージス艦「あたご」と漁船「清徳丸」の衝突事案について、被害者の家族に対する具体的な補償について、内閣として支援する必要があると思われるが、町村官房長官の御所見を伺いたい。
- ・にがりを用いたしょうゆに関する J A S 規格の見直しについての若林農林水産大臣の答弁を踏まえ、再仕込みしょうゆについて、J A S 規格の分類上濃口しょうゆに含めるべきではないか。

## 泉 健 太君（民主）

- ・総理からの指示により「後期高齢者医療制度」が「長寿医療制度」と名称を変更したが、警察において使用している「後期高齢運転者」の名称変更について泉国家公安委員会委員長に所感を伺いたい。
- ・平成 19 年の道路交通法改正法が本年 6 月 1 日に施行され、75 歳以上の高齢運転者には高齢運転者標識の表示

が義務づけられるが、その必要性について伺いたい。また、本制度によりタクシー運転者についても同様に表示が義務づけられるが、大型免許等と同様に表示義務を免除出来ないのか。泉国家公安委員会委員長及び松島国土交通副大臣に伺いたい。

- ・聴覚基準に達しない聴覚障害者が取得できる運転免許がワイドミラーを付けても限定されている理由は何か。また、今後車種拡大に向けた速やかな検討が必要だと考えるが、泉国家公安委員会委員長の所見を伺いたい。

## 佐々木 隆 博君（民主）

- ・地方分権推進委員会において、5 月中にもとりまとめることとされている「第一次勧告」の進捗状況は、現在どうなっているのか伺いたい。
- ・「地方分権推進委員会と府省の間には、地球と火星くらいの隔りがある」と伝え聞か、大臣間の意見交換の状況及びその中で相違点となっていることについて増田国務大臣に伺いたい。
- ・地方分権には、「財源」の移譲はもちろん「権限」の移譲が必要である。「権限」の中で、条例による上書き権を認めるべきと考えるが、増田国務大臣の所見を伺いたい。

## 吉 井 英 勝君（共産）

- ・高速増殖原型炉「もんじゅ」については、これまで多額の予算を投じているにもかかわらず、2050 年の実用化を目指しているという。また、チェルノブイリ事故のように、原発は決して安全なエネルギーではない。地球温暖化対策を進める上で、風力発電や太陽光発電などの再生可能エネルギーに予算を使うべきではないか。
- ・大間原子力発電所で行われている全炉心 M O X 炉の技術開発については、海外においても商業化されておらず、国内においても実験による安全性が実証されていないが、見直す必要があるのではないのか。